

サプライチェーン・マネジメント

積水ハウスグループの購入する製品およびサービスの環境・社会的影響が少なく、調達を通じてかかわる社会・経済全体に望ましい利益をもたらすことを重視し、取引先とともに成長することを目的としたマネジメントを進めています。

■ サプライチェーン・マネジメントの二つの側面

資材調達の側面

1棟の住宅の構成部材は数万点におよび、多数のメーカーの製品を使用します。そのために、当社グループでは管理の一貫性やスケールメリットに配慮し、原則として本社で一括購買を実施し、マネジメントを行っています。

※本ページではこの側面を中心に説明

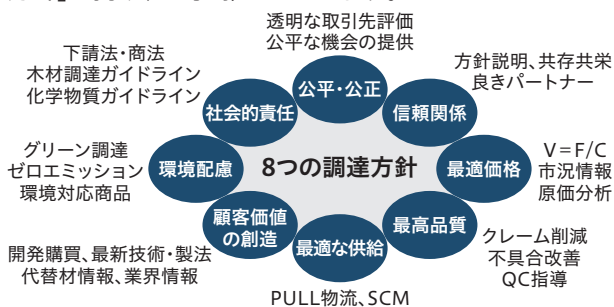
施工の側面

当社では代理店方式を取らずに「直接販売・責任施工」体制を築いています。工程ごとに複数の専門業者が施工にかかわるため、当社の一貫した管理のもと、各地域で連携して、施工品質の向上に取り組んでいます。

※詳細はCSV戦略③参照

調達方針

当社では「企業理念」「企業行動指針」に基づく調達活動を遂行するために、2007年から「最高品質」「最適価格」「最適供給」「環境配慮」を中心とした「8つの調達方針」を掲げ、遵守・推進しています。



また、持続可能性判断が詳細に至る「木材調達」「化学物質管理」については、これに加え、独自のガイドラインを設けて該当サプライヤー対象の進捗管理を行っています。

調達方針の共有と浸透

サプライヤー各社の会社方針と当社の調達方針との整合性を図り、相互理解を深めるために、主要な取引先約150社参加のもと、「方針説明会」を毎年開催しています。当社の経営概況や最新の経営計画、調達方針および商品戦略などについて説明し、取引先の活動の指針となる情報を共有するとともに、優秀企業の顕彰を行っています。

同時に、各社の企業体質改善事例などのベストプラクティスを発表していただき、取引先相互に刺激し合える場として活用しています。



「方針説明会」風景

「取引先評価」の実施と改善

公平・公正な取引を継続するために、1998年から「取引先評価」を実施しています。2009年からは、各社の体質改善に役立つように評価結果を開示しています。評価は資材部と開発・生産部門等が連携して実施し、定期的に評価項目や基準を見直しています。

また、評価に際しては、全件に対して環境クライテリアを考慮するとともに、単なる評価にとどまらず、取引先におけるPDCAをより実践的なものとし、具体的な改善行動につなげていくことを第一の目標にしています。

企業の安定した経営体質なくしては、高い品質と安定供給は期待できないことから、取引先各社の品質向上、クレーム削減、企業体質改善等を目的に、主要な取引先への「工場訪問」と「QC(品質管理体制)診断」を継続的に実施しています。

「方針連携強化活動」の推進

取引量、商品特性、取引先評価等を勘案して、総合的な視点から特に重要なサプライヤーとは「方針連携強化活動」を推進しています。

これは、TQM(総合的品質管理)における方針管理の考え方に基づき、品質、コスト、デリバリーの改善にとどまらず、医療・介護やリノベーションへの展開など、社会情勢に応じた経営上の重要課題を共有し、商品開発、営業戦略、事業継続マネジメントなど、必要に応じて戦略的視点から目標を設定して相互のメリットを生み出し、共に成長することを目指した活動です。